

動物保護センターって どんなところ?

土屋にある動物保護センターは、迷子になってしまった犬や猫が連れてこられるところです。ほかにも、いろいろな理由でここにやってくる動物がいるそうです。中には、飼い主に捨てられたり、面倒を見切れなくなつて連れてこられたりする犬や猫もいるそうです。

この日、動物保護センターには、



わたしたちのほかにも、「小動物飼育体験教室」に参加している小学生や、動物保護センターの仕事を経験している高校生の人たちが来ていました。みんな動物が大好きな人たちです。

子犬の世話をしたよ

いよいよ取材スタートです。

今日は動物保護センターのいろいろな仕事を体験しながら、取材していきます。初めに、もうすぐ新しい



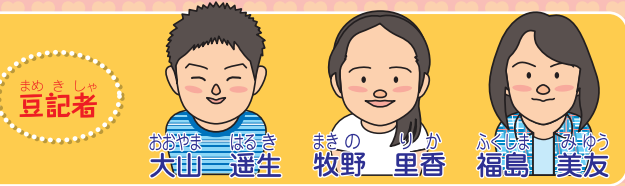
いっぱい食べよう



清潔にしなきゃね

動物大好き! だから...

「いつまでも一緒に暮らそうよ」



動物が大好きなわたしたち3人は、神奈川県動物保護センター取材しました。動物保護センターに行くのは初めてだったり、久しぶりだったり、みんな楽しみにしていました。

動物を捨てるなんて!

最後に、捨てられたり迷子になったりした犬がいる部屋を見せてもらいました。まだ、連れてこられたばかりの犬は、キラキラとした目でわたしたちを見て、しっぽを振っていました。でも、長くここにいた犬は、悲しく、寂しそうな目をしていました。



子犬たちをケージから出して、え

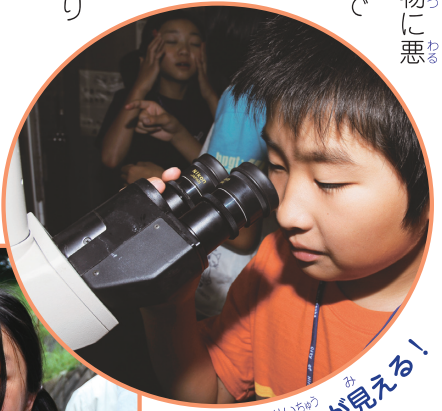
病気から守るぞ!

子犬たちがえさを食べている間に、ケージの消毒をします。それから、使い終わった食器を洗って、滅菌機という機械で消毒しました。121度の高温で30分間

幸せになってね

動物保護センターの人たちだって、みんな動物が大好きです。だから、本当は犬や猫を処分するのは、とてもつらいことなんだと思います。これを読んでいるみんなも、動物を飼いたいと思うのなら、本当にずっと飼えるのか、飼う前によく考えてください。わたしたちは、犬や猫を捨ててしまうような大人には、絶対にならないと心に誓っていました。

置いておくと、動物に悪さをする菌が死んでしまうそうです。動物たちが病気になるないように、とても気を使って、いるのがよく分かりました。



センターの人たちがします。センターの人たちはみんな獣医さんなんだって。知らなかった。



かわいいでしょ!

この犬たちが、飼い主を待つことのできる時間は、たったの5日間だそうです。中には、運よく新しい飼い主が見つかったりして幸せに暮らしている犬もいるようですが、多くの犬は、このまま5日が過ぎて処分されてしまうそうです。処



動物も友達なんだよ

今日、わたしたちが世話をした子犬たちが、新しい飼い主のところへ幸せになれますように。